

紀要論文

- (1) 本多栄治、片岡 貞：電子求引基で安定化されたセレナベンゼンの合成に関する研究。
[岐阜薬科大学紀要, 51, 1-12 (2002)]
- (2) 藍石, 酒井英二, 田中俊弘：日本における医食同源の役割 古くて新しい食科学である薬膳学について。
[岐阜薬科大学紀要, 51, 47-53 (2002)]
- (3) A. Osada : Some Remark on Bijetive Maps Associated with the Harmonic Dimension Considered by Heins of the Kerekart Boundary of an Open Riemann Surface.
[岐阜薬科大学基礎教育系紀要, 14, 1-4 (2002)]
- (4) 坂恒夫：複雑系としての脳。
[岐阜薬科大学基礎教育系紀要, 14, 5-34(2002)]
- (5) Shoun Hino: Suresvara's Vārtika on Bṛhadāraṇyakopaniṣad 4.4 [796-972].
[岐阜薬科大学基礎教育系紀要, 14, 55-109 (2002)]
- (6) 澤岡 藩：ジャンルに関する諸問題 — 小説と Erzählung —
[岐阜薬科大学基礎教育系紀要, 14, 35-54 (2002)]

総 説

- (1) 伊藤彰近, 正木幸雄：メソポーラスシリカを利用する有機合成反応。
[有機合成化学協会誌, 60, 1158-1167 (2002)]
- (2) Shin-ichi Kondo,* Masayuki Kuzuya and Shoei Furukawa : Development of Polymeric Prodrugs as a Therapeutic Agent for Alzheimer's Disease by Mechanochemical Solid-State Polymerization.
[Curr. Med. Chem., 2, 157-173 (2002)]
- (3) 葛谷昌之：水の構造と物性。
[健康創造研究, 1, 77-82 (2002)]
- (4) 葛谷昌之：プラズマ技術を利用した製剤材料の基礎的研究。
[ファルマシア, 38, 1149-1151 (2002)]
- (5) 葛谷昌之：プラズマ法による薬物製剤化
[化学と薬学の教室, 147, 27-32 (2002)]
- (6) 江坂幸宏：DNA 増幅系に用いる蛍光プローブの開発。
[ぶんせき, 327, 133 (2002)]
- (7) 竹内洋文, 山本浩充, 川島嘉明：吸入剤の粒子設計。
[粉体工学会誌, 39, 22-27 (2002)]
- (8) 山本浩充, 竹内洋文, 川島嘉明：粒子制御による微粒子ドラッグデリバリーシステムの機能設計。
[Drug Delivery System, 17, 231-329 (2002)]
- (9) 山本浩充：錠剤製造プロセス。
[製剤と機械, 277 2-5 (2002)]